

2012年8月21日

財団法人 Karuizawa New Art Museum

大浮世絵展

～北斎、広重、そして春画～

2012年9月13日(木)～2012年12月24日(月・祝)

Karuizawa New Art Museum オープニング記念企画展覧会第2弾、「大浮世絵展～北斎、広重、そして春画～」を開催いたします。

江戸時代の民衆文化を代表する「浮世絵」は、現代におけるテレビや雑誌などマスメディアと同等の役割を担っており、浮世の様相を実に生き生きと伝えています。

19世紀末、初めて浮世絵版画を目にしたヨーロッパの人々は、たちまちその魅力の虜となりました。浮世絵の構図、色彩、木版画の技巧、それらすべてがまさに“ニューアート”として、驚きと感動をもって迎えられたことでしょう。

本展覧会では、歌川広重(1797-1858)の《東海道五十三次》、《富士三十六景》各全図をはじめ、葛飾北斎(1769-1849)の《富嶽三十六景》、《諸国瀧巡り》より、喜多川歌麿(1750年代-1806)による美人画ほか、現在も私たちの心をとらえて離さない浮世絵版画の魅力、前期・中期・後期の三期にわたってお伝えします。さらに、本邦美術館では初の試みとして、春画を特別展示いたします(※)。“浮世”絵、すなわち現世のいとなみのなかでこそ生まれた絵の深層に迫る本展覧会に、どうぞご期待ください。

また、本展覧会は、「井上有一 ～日々絶筆・書の前衛アート～」と同時開催です。「現代アートとしての書」の道を切り拓いた井上有一の力強く生命感あふれる書とともに、ごゆっくりお楽しみください。

※春画展示期間(後期：11月22日より12月24日まで)は18歳未満の方のご入場はできません。

KARUIZAWA
NEW ART MUSEUM
Whitestone Art Foundation

主な出品作品



① 歌川広重 Hiroshige UTAGAWA
《東海道五十三次之内 蒲原 夜之雪》
Among 53 stops of Toukaidou,
Snowy night at Kamabara
1830年
木版・和紙 大判



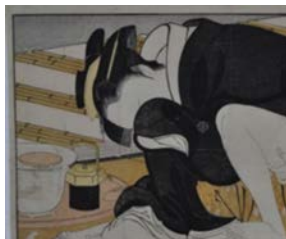
② 歌川広重 Hiroshige UTAGAWA
《東海道五十三次之内 庄野 白雨》
Among 53 stops of Toukaidou,
Heavy shower at Shouno
1830年
木版・和紙 大判



③ 葛飾北斎 Hokusai KATSUSHIKA
《富嶽三十六景 甲州石班沢》
36 views of Mt. Fuji,
Koshu, Kajikazawa
1830-34年
木版・和紙 大判



④ 葛飾北斎 Hokusai KATSUSHIKA
《富嶽三十六景 凱風快晴》
36 views of Mt. Fuji, Gaifuu Kaisei
1830-34年
木版・和紙 大判



⑤ 喜多川歌麿 Utamaro KITAGAWA
《歌満くら》第七図(部分)
Utamakura no.7
1788年
木版・和紙 大判



⑥ 鈴木春信 Harunobu SUZUKI
《雪月花》
Snow, Moon, Flower
1700年代
木版・和紙 中判

絵師・作品紹介

葛飾北斎(1760–1849)

日本美術史の範疇にとどまらず、世界美術史においても重要な位置を占める巨匠のひとり。90年の生涯において改号30回、転居90回以上といわれ、常に新たな気持ちで精進に努めた。《富嶽三十六景》《富嶽百景》など国際的に知られる木版画の作品群をはじめ、肉筆画や描画学習のための教本(通称『北斎漫画』)の制作にも力を注いだ。ドビュッシーは北斎の作品にインスピレーションを受けて交響詩「海」を作曲している。

歌川広重(1797–1858)

美人画、花鳥図などを描いていたが、後年風景画を主に制作。《東海道五十三次》により風景画家としての名声が高まる。大胆な構図や美しい藍色はヨーロッパの画家たちにも大きな影響を与えた。屏風絵や襖絵なども手掛けている。本展覧会では《東海道五十三次》、《富士三十六景》全図を展覧。《名所江戸百景》のうちの《亀戸梅屋舗》は、ゴッホも模写を残していることで有名。

喜多川歌麿(1750年代–1806)

美人画の代名詞ともいえる絵師。生年や出身地などははっきりしていない。全身像よりも半身像、あるいは大首絵によって、女性たちの日常の表情を細やかに、豊かにとらえ、清新で流麗な画面を生み出した。当時より貿易のなかで歌麿の浮世絵が清などにも渡り、人気を博したという。ボストン美術館などにも作品所蔵。

開催情報

- ◇展覧会名 大浮世絵展 ～北斎、広重、そして春画～
- ◇会 期 2012年9月13日（木）～2012年12月24日（月・祝）
※内覧会：2012年9月12日（水）
※前期：2012年9月13日（木）～2012年10月15日（月）
中期：2012年10月18日（木）～2012年11月19日（月）
後期：2012年11月22日（木）～2012年12月24日（月・祝）
- ◇会 場 Karuizawa New Art Museum 第3-6展示室（2階）
〒389-0102
長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 1151-5
- ◇開館時間 午前11時～午後5時（入館は30分前まで）
- ◇休館日 毎週火曜日・水曜日
- ◇観覧料 一般：1200円、65歳以上・高大生：900円、中小生：600円
※団体：20名以上で来館の場合、上記各入館料の100円引き
※同時開催・井上有一展との共通券：
一般：1600円、65歳以上・高大生：1200円、中小生：800円
団体：20名以上で来館の場合、上記各入館料の200円引き
※未就学児はどの場合も無料
※春画展示期間中（11月22日より12月24日まで）は、18歳以上の方で、
展示の趣旨にご賛同いただける方のみご入場いただけます。係員が、年齢
の確認できる証明書等の提示をお願いする場合がございますので、あらか
じめご了承ください。
- ◇主 催 財団法人 Karuizawa New Art Museum

【同時開催】

- 井上有一 ～日々絶筆・書の前衛アート～
2012年9月13日（木）～2012年12月24日（月・祝）

関連情報

【特別内覧会】

日時：2012年9月12日（水）午後2時～

会場：Karuizawa New Art Museum 第3-6展示室（2階）

内容：記者会見、展示内覧会他（予定）

※完全招待制となります。（要招待状）

プレスの方で参加ご希望の方は、下記問合せ先までご連絡ください。

【関連イベント・プログラム】

・浮世絵関連ワークショップ（タイトル未定）

11月3日（土・祝）

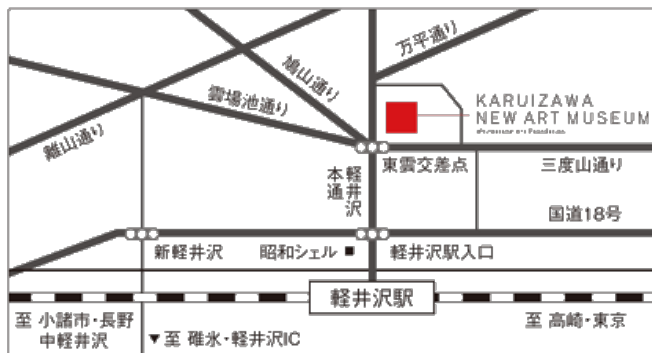
・キュレーターによるギャラリートーク

9月22日、10月6日、10月20日、11月24日、12月8日、12月22日

各日午後2時～午後2時半 無料（要展覧会チケット）

【交通案内】

JR 東日本・しなの鉄道「軽井沢駅」から徒歩7分



KARUIZAWA
NEW ART MUSEUM

Whitestone Art Foundation

【プレス画像】

本展広報用として、6点の図版がございます。

掲載ご希望の方は別紙 FAX シートにて、ご希望の図版番号をお知らせください。

【お問い合わせ先】

Karuizawa New Art Museum (軽井沢ニューアートミュージアム)

TEL: 0267-46-8691 / FAX: 0267-46-8692

〒389-0102

長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 1151-5

pr@knam.jp

大浮世絵展

～北斎、広重、そして春画～

財団法人 Karuizawa New Art Museum 広報課宛

FAX: 0267-46-8692 / E-mail: pr@knam.jp

本展覧会広報用素材として、作品画像 6 点をご用意しております。

ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、ファックス又は E メールにてお申込みください。なお、写真の使用に際し、以下の点をご注意ください。

- ① キャプションは、作家名、作品名、制作年、クレジットを必ず表記ください。
- ② 作品のトリミング、文字載せはお控えください。

※本展記事を紹介頂く場合には、恐れ入りますが情報確認の為に校正、掲載誌（紙）、DVD、CD 等をお送りください。

媒体名：	種別： <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> 雑誌 <input type="checkbox"/> フリーペーパー <input type="checkbox"/> ネット媒体 <input type="checkbox"/> 携帯媒体 <input type="checkbox"/> その他（ ）	発売・放送予定日： 年 月 日
御社名：	ご担当者名：	電話番号：
FAX 番号：	ご住所：	メールアドレス： @

図版番号：

- ① 歌川広重「東海道五十三次之内 蒲原 夜之雪」 1830 年 木版・和紙 大判
- ② 歌川広重「東海道五十三次之内 庄野 白雨」 1830 年 木版・和紙 大判
- ③ 葛飾北斎「富嶽三十六景 甲州石班沢」 1830-34 年 木版・和紙 大判
- ④ 葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」 1830-34 年 木版・和紙 大判
- ⑤ 喜多川歌麿「歌満くら」第七図(部分) 1788 年 木版・和紙 大判
- ⑥ 鈴木春信「雪月花」1700 年代 木版・和紙 中判

**KARUIZAWA
NEW ART MUSEUM**

Whitestone Art Foundation